

セブポートセンター ロータリークラブとの協調社会奉仕

横浜港南ロータリークラブ

国際奉仕委員長 山田勝康

TEL 045-846-5111 FAX 045-846-5129

クラブ事務所 <konan.rc@nifty.com>

【セブ島の貧困な子供達への給食提供と口唇口蓋裂の治療医師派遣費用の協力】



横浜港南ロータリークラブは2005年より、フィリピン国セブシティのセブポートセンターロータリークラブと姉妹クラブ提携を締結しています。その目的は、相互のロータリアンの友好関係の保持、セブの貧困な子供たちへの環境改善などです。本年2016年7月には、前回の姉妹提携が10年を経たため、更なる10年に対し2回目の姉妹クラブの締結及び会長就任式の出席を行いました。

当クラブは、現地の公立小学校の無償給食配布事業費用、その小学校の排水設備の改善事業費等として20万円、現地の口唇口蓋裂の子供への医療費用として20万円、山村地区の給水改善のための井戸掘削事業費用として10万円、の合計50万円を、例年2回に分けて寄附をいたしております。

無償給食事業とは、公立小学校の特別クラスにおいて貧困家庭の子供達に対し、無償にて食事が出るため親が小学校に行かせることをきっかけとして、識字率や教育の向上を目指す行為です。

口唇口蓋裂の子供への医療とは、セブポートセンターロータリークラブが主催となり、米国より医師団を召致し、セブにあるADVENTIST HOSPITALにおいて外科治療を行います。過去13年間に約1,000人の子供達を治療した実績をもって、ロータリークラブの国際医療貢献としては、アフリカの医療貢献に次ぐ実績です。

井戸掘削事業とは、セブの山村地域では水道も井戸も無く、雨水を溜めて飲料水として生活する集落がまだまだ沢山あり、その後進集落の健康向上のために井戸の設置により飲料水を確保する事業です。10万円で3ヶ所ほどの井戸が掘削できます。

当クラブは例年1～2回セブポートセンターロータリークラブの小池パスト会長のご案内のもとに現地を訪れ、その成果も確認しながら友好関係を継続しております。